

協議参考資料

(1) 子供の貧困対策における社会教育の支援について

- ・企業と連携した子供応援事業

(2) 学校・家庭・地域の連携の再構築について

(1) 子供の貧困対策における社会教育の支援について

・企業と連携した子供応援事業（新規事業）

教育庁教育振興部生涯学習課

子供の健やかな成長を支援する「ちば家庭・学校・地域応援企業等登録制度」と、放課後や週末等に学校の余裕教室を活用して、交流活動等に取り組むなど心豊かで健やかな子供の育成を目指す「放課後子供教室推進事業」をつなぎ、全ての子供を対象とした放課後等の活動を支援する新たな仕組みを構築する。

【取組】

モデル地区に指定した「放課後子供教室」と「ちば家庭・学校・地域応援企業等登録制度」に登録している企業の連携を図り、企業のもつ人材、情報、物資等を子供たちの活動のために提供することをとおして、「放課後子供教室」の活動の充実を図る仕組みを探り、県内に提案する。

【期待される効果】

企業と連携することで、「放課後子供教室」における人的、物質的な面での支援が充実し、これまで以上に子供たちの活動の充実、心の安定等が図れ、合わせて安心安全な放課後の時間を提供することにもつながる。

※企業側のメリット：社会貢献（企業イメージの向上）、商品開発、顧客拡大等

【事業計画】

- ・平成28年度から「モデル教室」で実践したノウハウを、31年度以降に県内に拡充することを目指して3年計画で取り組む。

平成28年度

- (1) 準備調整会議（生涯学習課担当者、教育事務所社会教育主事等）

- ・登録企業や、放課後子供教室への事業説明
- ・協力団体等の決定
- ・リーフレット原案作成

- (2) 29予算要望：説明用リーフレット印刷代、会議費等

平成29年度

- (1) 担当者会議（生涯学習課担当者、教育事務所社会教育主事、企業関係者、放課後子供教室関係者等）

- ・試行（県内2カ所程度）
- ・課題検討 等
- ・リーフレット原案作成

- (2) 30予算要望：活用リーフレット印刷代、基調講演講師謝金、旅費 等

平成30年度

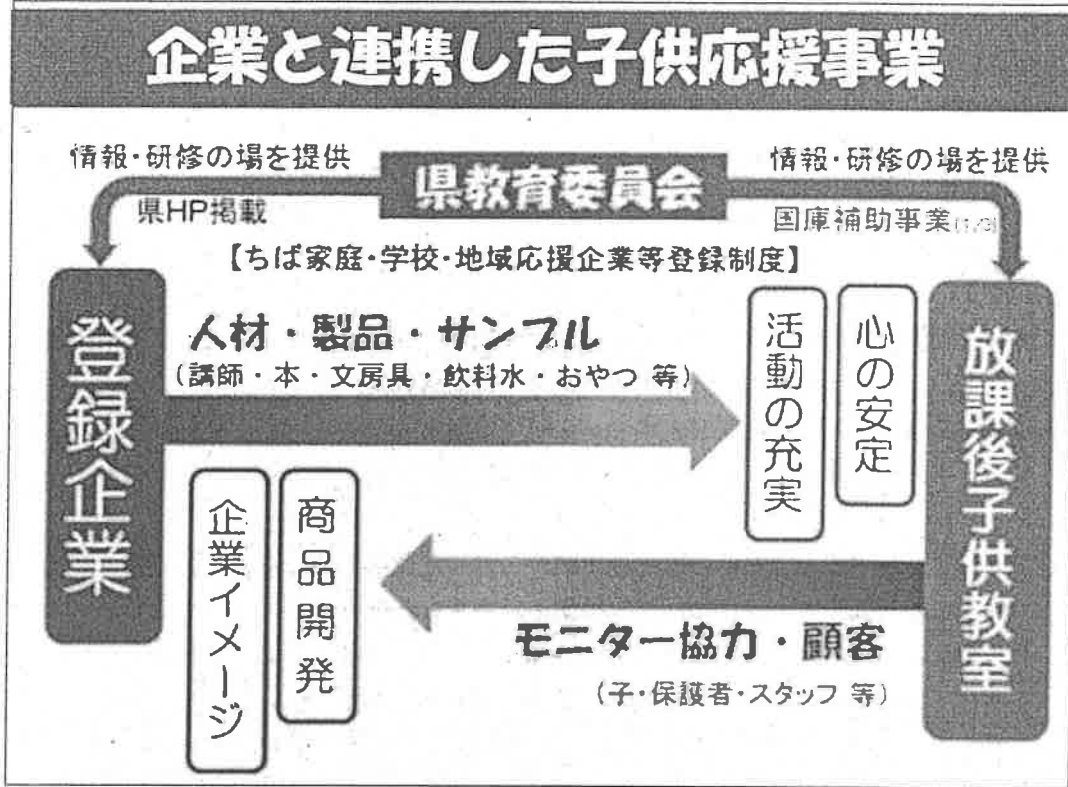
- (1) 担当者会議（生涯学習課担当者、教育事務所社会教育主事、企業関係者、放課後子供教室関係者等）

- (2) 先行事例をまとめる

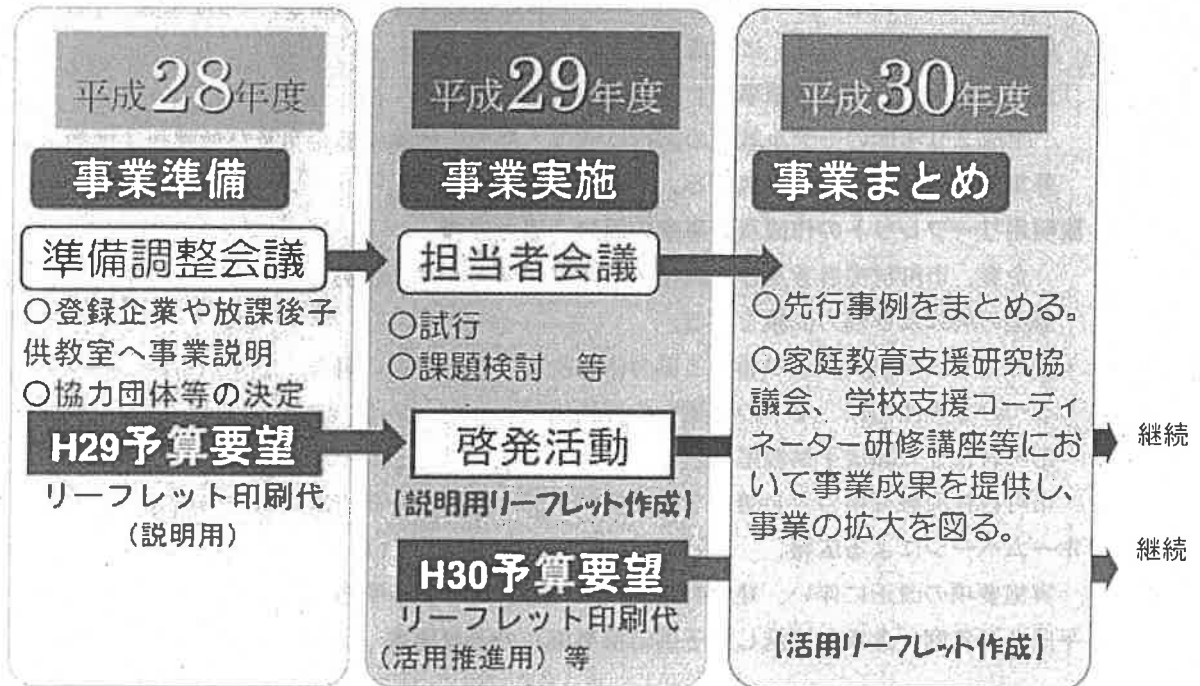
- (3) 事業成果の発表会（例：家庭教育支援研究協議会、学校支援コーディネーター研修講座等）

- (4) 活用リーフレットの作成

◇事業の仕組



◇事業計画 (平成 28.年度～平成 30 年度)



<平成28年度の取組について>

1 学校支援コーディネーター研修講座<1期>の実施

放課後子供教室のコーディネーター等の養成を目的とした研修講座に、「企業と連携した放課後子供教室」の講義を取り入れ、企業と放課後子供教室の連携について考える場とした。

- ・ 5月27日（金） さわやかちば県民プラザ 参加者12名

講師：谷山 大三郎 氏（NPO法人企業教育研究会、千葉大学教育学部附属教員養成開発センター特別研究員）

- ・ 6月 2日（木） 千葉県総合教育センター 参加者51名

講師：市野 敬介 氏（NPO法人企業教育研究会、元みんなで取り組む千葉教育会議委員）

NPOが学校と企業との連携の実践から培った連携方法等を基に、企業と放課後子供教室の連携の方法等について、提案や示唆をいただいた。

受講者から、「これまで地域人材はお願いしてきたが、企業の力を借りてという取組はしてこなかったもので、大変参考になりました。」「とてもいい企画だと思いました。無料であるならぜひと思います。」「企業との壁を取るのが市町村では難しいのかと思います。」等の感想が寄せられた。

2 「ちば家庭・学校・地域応援企業等登録制度」実施要綱の改正

新規事業の実施に伴い、登録要件に本事業に係る項目を追加し、「ちば家庭・学校・地域応援企業等登録制度」に位置付ける。

3 「企業と連携した子供応援事業」準備調整会議の設置

平成29年度のモデル教室の試行に向け、協力を依頼する企業及び放課後子供教室の募集や決定等について協議する。

4 説明用リーフレットの作成及び事業の周知・協力依頼

企業、市町村担当者及び放課後子供教室関係者向けの説明用リーフレットを作成し、事業の周知及び協力依頼をする。

- ・ 登録企業への要綱改正の通知と協力依頼及び協力の可否の調査
- ・ 5つの企業団体に、傘下の企業への周知依頼
- ・ 市町村及び放課後子供教室担当者への協力依頼
- ・ 市町村社会教育担当者会議や学校支援コーディネーター研修講座等での周知

5 ホームページによる広報

実施要項の改正に伴い、登録企業の取組内容一覧を更新する。

6 平成29年度「企業と連携した子供応援事業」の予算要求

【参考】 5つの企業団体：千葉県経営者協会・千葉県商工会連合会・千葉県商工会議所連合会
千葉県中小企業家同友会・千葉県中小企業団体中央会

(2) 学校・家庭・地域の連携の再構築について

【前回の協議の趣旨】

課の施策を「学校・家庭・地域の連携の再構築」の観点から見直し、今後の施策の展開に生かしていく上で、配慮や改善の必要な「視点」「工夫すべき点」「強化すべき点」について御意見をいただく。

〈再構築とは〉○連携体制の不足している部分を補う ○新たな方向性「協働」の構築

< 審議会の協議から >

- I 地域の活動を繋げる地域の指導者、コーディネーターの養成
- II 学校支援コーディネーターの活用
- III 連携の強化に向けた体制（システム＝組織）づくり
- IV 公民館との連携（地域人材の活用等）



< 具体的な取組 >

I 地域の指導者・コーディネーターの養成

①社会教育主事等の養成

・国立教育政策研究所社会教育実践研究センターにおける社会教育主事講習等研修の受講促進

②社会教育・生涯学習推進講座（さわやかちば県民プラザ事業）

・社会教育関係者のコーディネート能力等の育成

③学校支援コーディネーター研修

・地域コーディネーターの育成

II 学校支援コーディネーターの活用

④社会教育担当者研修

・学校・地域連携の促進（先進的取組事例の研修を通して）

III 連携の強化に向けた体制づくり⇒既存組織の強化

⑤学校支援地域本部、放課後子供教室の推進

・取組市町村の拡大

⑥通学合宿の推進

・地域住民の参画の促進

IV 公民館との連携（地域人材の活用）

②社会教育・生涯学習推進講座（さわやかちば県民プラザ事業） ※再掲

・地域人材の育成

④社会教育担当者研修（公民館の実践1） ※再掲

・地域人材を生かした学校との連携の取組の推進（先進的取組事例の研修を通して）

⑥通学合宿の推進（公民館の実践2） ※再掲

・公民館等を実施主体とした取組事例の促進

「学校・家庭・地域の連携の再構築」に向けた取組

I 地域の指導者・コーディネーターの養成

○事業名 ①社会教育主事等の養成

○事業内容

- ・社会教育主事の配置促進と有資格者の増加、社会教育に携わる職員の資質向上を図るため、国立教育政策研究所社会教育実践センターで実施される社会教育主事講習や公民館職員専門講座、図書館司書専門講座への受講を促進する。

○昨年度の成果と課題

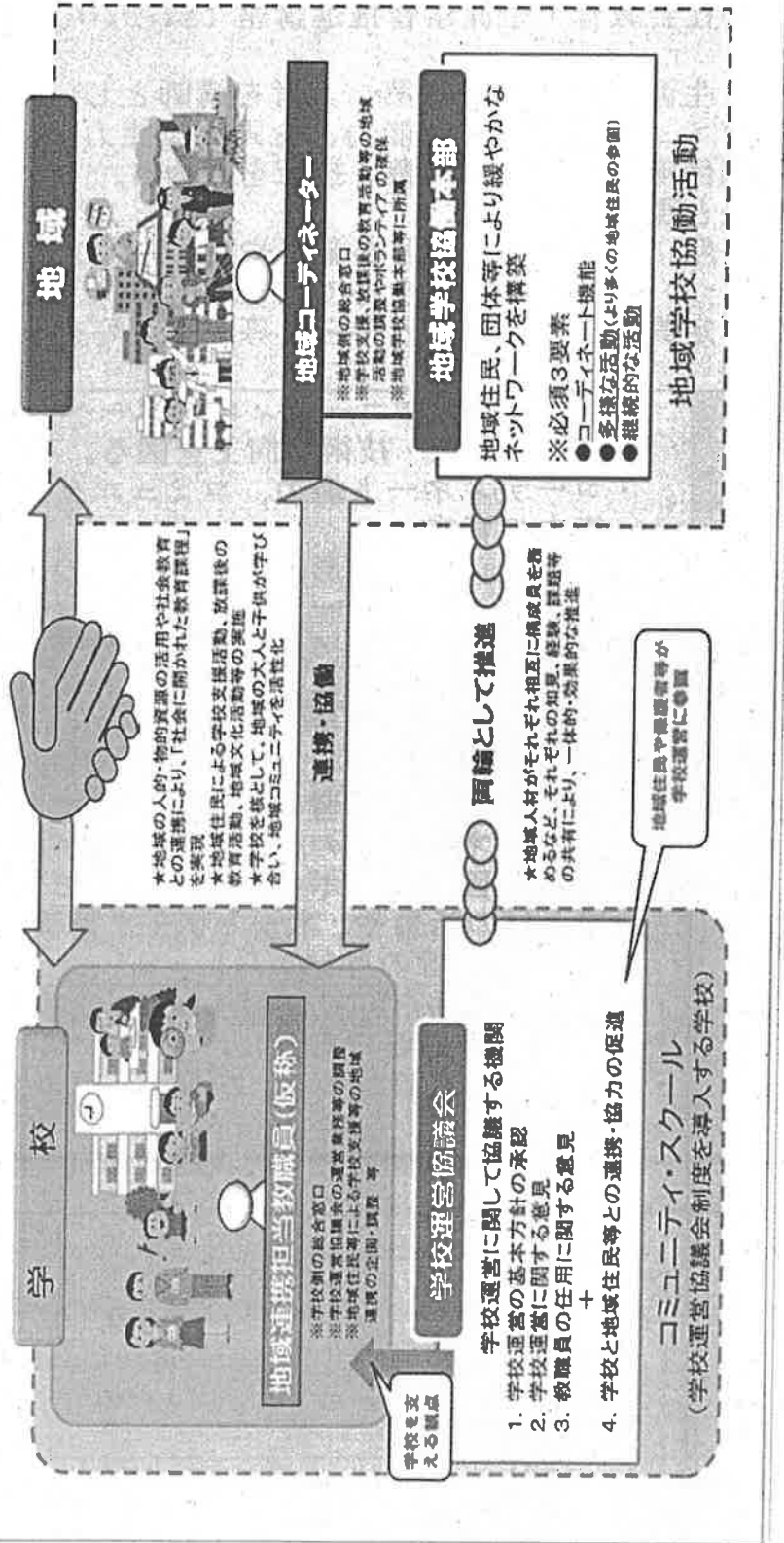
- ・国立教育政策研究所社会教育実践研究センター主催の社会教育主事講習（2講座）29名、同センター研修講座（9講座）45名の受講があった。
- ・学校と地域の連携を進めるため、公立学校教職員等の受講者数の拡大を図る必要がある。

○今年度の取組

<p>視 点 工 夫 点 強 化 点</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・各種会議（市町村教育長会議、市町村生涯学習・社会教育主管課長会議、社会教育主事研修会等）において講習・研修の周知徹底と理解の促進とともに、受講者の拡大を図る。 ・他課と連携した広報の強化を図る。 ・先進的な事例を紹介するなど、社会教育主事の役割の重要性の理解を得るための取組をしていく。
<p>事業の成果</p>	
<p>事業の課題</p>	
<p>今後の事業 の在り方</p>	

学校と地域の効果的な連携・協働と推進体制（イメージ）

ーパートナーシップの構築による新しい時代の教育、地方創生の実現ー



【答申 p35】（地域連携を担当する教職員の明確化等教職員体制の整備）

国は、学校と地域の信頼関係を構築し、地域の力を生かした学校教育の充実や、学校全体の負担軽減、マネジメント力の向上を図るため、学校内において地域との連携の推進を担当する教職員を法令上明確化することで、校内体制の整備を図る。この際、社会教育主事の有資格者の活用を図ることも検討するとともに、授業時数や職務分掌等での負担軽減を含めた学校全体の業務の最適化や、教職員体制の整備充実を図ること等を通じ、当該職員が地域との連携に力を発揮できる環境の確保を図ることも検討する。

平成28年度 生涯学習課施策取組シート
 「学校・家庭・地域の連携の再構築」に向けた取組

I 地域の指導者・コーディネーターの養成

○事業名 ②社会教育・生涯学習推進講座（さわやかちば県民プラザ事業）

○事業内容

- ・社会教育・生涯学習における第一人者を講師とし、コーディネート能力やコミュニケーション能力、企画立案能力等、社会教育・生涯学習関係職員に必要な知識・技術を高める。

○昨年度の成果と課題

- ・受講者満足度（94%）、内容が業務や活動に役立つ（95%）等、内容については、高評価を得ている。
- ・受講者数が定員に達しないことから、募集方法等を改善する。

○今年度の取組

視点 工夫 強化点	地域の指導者やコーディネーターへの指導・助言のできる知識・技術の向上を図る。 ・コーディネート能力、コミュニケーション能力の育成 ・ワークショップ形式による学習の体験を通じたファシリテーション技術の習得 ・先進事例を元に、地域連携事業等の企画立案演習による事業企画立案力の習得
事業の成果	<入門コース4/28, コーディネートコース5/19・31, 企画立案コース5/28、6/9、コミュニケーションコース6/23> ・社会教育・生涯学習の基礎を理解できた。 ・コーディネーターの役割への理解が深まった。 ・事業の企画立案のポイントが理解できた。 ・地域人材の活用や、ネットワーク構築方法が学べた等（受講者の意見から）
事業の課題	・受講者の在勤市町村に偏りが多く、事業の周知方法に工夫が必要である。 ・講座内容に重複が多く、カリキュラムの見直しが必要である。 ・受講申込み期間が短く、見直しが必要である。
今後の事業の在り方	

平成28年度 社会教育・生涯学習推進講座 開催要項

1 趣 旨

情報・消費社会の成熟とともに、国際化・グローバル化・少子高齢化及び地域社会の変容など、現代社会の課題は多岐にわたっており、県内の各機関、施設・職場の抱える問題ともなっているように思われる。特に学校や社会教育施設などの職員は、「社会の変化に対応するための新しい知識、技術、価値観等の習得」や「課題解決のためにボランティアと協働する能力の開発」がますます必要となっている。

そこで、広く県内の各施設職員の方を対象に、課題解決方法や職員としての資質向上を図り、異なる地域・職種間のネットワーク作りの一助とすることを目的とし、本講座を開催する。

- 2 対象・定員 県内の社会教育・生涯学習関係職員 学校関係職員 等
 ※企画立案・広報コースⅠ は高校生も対象（高校生定員 20名）
 各コース30名（応募者多数の場合は抽選にて決定）

- 3 費用 無 料

- 4 会場及び時間 さわやかちば県民プラザ 大研修室
 10時00分～16時00分を予定（受付開始 9時30分～）

5 日程・内容

【① 入門コース】※初任者または経験年数の少ない方を主たる対象とする。

期 日	テーマと内容	学習方法	講師
4/28(木)	午前 【社会教育及び生涯学習施設の今日的課題を学ぶ】 ・社会教育・生涯学習施設の新たな展開 ・特徴ある取組の事例紹介	講義	日本青年館公益事業部 「社会教育」編集長 近藤 真司 氏
	午後 【生涯学習及びボランティア活動についてワークショップを通して学ぶ】 ・生涯学習の基本を考える ・ボランティア活動の原点を知る	講義 演習	財団法人富士福祉 事業団理事長 枝見 太朗 氏

【② コーディネートコースⅠ】※各地域の課題をもとにコーディネーターとしての能力を学びます。

期 日	テーマと内容	学習方法	講師
5/19(木)	午前 【コーディネート能力の理解と役割について学ぶ】 ・コーディネーターの役割と業務 ・地域ごとの課題	講義 演習	NPO法人 笑顔せたがや 事務局長 山崎 富一 氏
	午後 【ワークショップを通してプログラム作りの手順を学ぶ】 ・グループ討議（地域提出課題解決に向けて）→プログラム作成→グループ発表 →講評	講義 演習	

【③ コーディネートコースⅡ】

平成27年12月21日、中央教育審議会より「新しい時代の教育や地方創生の実現に向けた学校と地域の連携・協働の在り方と今後の推進方策について」の答申が出されました。今後、学校と地域の新たな連携・協働に向けた整備体制の構築が重要となります。講師には、中央教育審議会委員でいらっしゃる特定非営利活動法人 スクール・アドバイス・ネットワーク理事長 生重幸恵 氏をお迎えし、地域と学校の連携のあり方について学びます。

*本コースは、千葉県教育庁生涯学習課主催「学校支援コーディネーター研修講座1期」と共通講座です。地域による学校支援活動に取り組んでいる方、今後取り組んでみようとする方が対象となる講座です。学校支援の視点で、コーディネート力について学びます。

期 日		テーマと内容	学習方法	講師
5 / 31 (火)	午前	【学校支援におけるコーディネート能力について学ぶ】 ・学校支援におけるコーディネート能力とは何か ・支援から連携・協働へ（今後の展開） ・活動事例等	講義	特定非営利活動法人 スクール・アドバイス・ネットワーク 理事長 生重 幸恵 氏
	午後	【ワークショップを通してコーディネートの実践を学ぶ】 ・グループ活動 ・質疑応答 等	講義 演習	

【④ コミュニケーションコース】 *さまざまな場面における対応力等を学びます。

期 日		テーマと内容	学習方法	講師
6 / 23 (木)	午前	【社会教育・生涯学習に携わる職員としての、コミュニケーション能力について学ぶ】 ・人と人との関係づくり ・公民館や生涯学習センター等のおかれている状況 ・社会教育に携わる人に必要な対人能力 ・クレーム対応の実践（あなたならどうする？）	講義 演習	元船橋市教育委員会生涯学習部長 須藤 元夫 氏
	午後			

【⑤ 企画立案・広報コースⅠ】 (新)

***新設講座**です。地域活性のためには、若い力やアイデアが必要です。高校生と公民館等社会教育施設職員とで、『まちづくり』を視点に企画立案の手法を学びます。高校生が参加しやすいように土曜日の開催となります。

期 日		テーマと内容	学習方法	講師
5 / 28 (土)	午前 午後 途中 まで	【社会教育の概要及びまちづくりを視点にした地域活性のあり方と必要性を学ぶ】 ・「まちづくり」における行政の役割（行政職員へ） ・高校生と社会教育（高校生へ） ・高校生など若者を「まちづくり」に参画させるプログラム企画の視点 ・プログラム企画（ワークショップ）・発表・評価等	講義 演習	杉並区教育委員会生涯学習推進課 社会教育推進担当 係長 齋藤 尚久 氏
	午後	【若者を「まちづくり」に参画させる試み：先進的な取組から地域との調整力について学ぶ】 ・高校生をまちづくり・地域づくりに参画させるための企画立案の視点 ・青梅市での取組及び今後の展望等 ・質疑等	事例発表	青梅市市民部市民活動推進課青梅市民センター主任（元青梅市教育委員会社会教育主事） 鈴木 孝志 氏

【⑥ 企画立案・広報コースⅡ】*まちづくり、地域おこしの第一人者が講師です。

期 日	テーマと内容	学習方法	講師
6 / 9 (木)	午前 【企画立案能力のスキルアップの仕方等を学ぶ】 ・学習プログラム作成の視点と作成の実際 ・プログラムの発表・評価・講評	講義 演習	事業構想大学院大学客員教授 NPO法人まちづくり協会 理事長 福留 強 氏
	午後 【特色ある取り組み(事例研究)から特徴や取組の視点を学ぶ】 ・特色ある公民館の取り組みについて(事例発表及び質疑応答(2公民館を予定))	事例発表	公民館職員 千葉市小中台公民館 柏市中央公民館

【⑦ 企画立案・広報コースⅢ】*実際にパソコンを操作しながら学びます。

期 日	テーマと内容	学習方法	講師
7 / 14 (木)	午前 【人を集める広報の方法について学ぶ】 ・ちらしを作る前の情報整理術と戦略	講義 演習	富士オフィス&ライフサービス株式会社 社員
	午後 ・効果的なワード活用術 ・ちらし作成の演習 (午後はパソコン室にて実習)		

【⑧ 企画立案・広報コースⅣ】*マーケティングコンサルタント&コピーライターの立場からご講義をいただきます。

期 日	テーマと内容	学習方法	講師
9 / 8 (木)	午前 【人を集める広報の方法について学ぶ】 ・集客に結び付くちらし作成のテクニック	講義 演習	合同会社バリュースタジオ・ジャパン代表 マーケティングコンサルタント&コピーライター 横溝 剛 氏
	午後 【企画立案・広報活動に関する情報交換】 ・受講者各自が業務の企画立案・広報活動に関する課題等を持ち寄り、情報交換を行う。		

6 受講にあたって

- ・講座は午前10時からです。(受付開始は午前9時30分)
- ・持参するもの □開催要項(本書) □筆記用具 □結果通知書 (□昼食)
- ・昼食は、ご持参いただくか、当プラザ内レストラン等をご利用ください。
- ・駐車料金は、お帰りの際、館内料金精算機(正面入口手前)で精算の上、お車にお進みください。(出口ゲートでの精算はできませんのでご注意ください。)
- ・欠席する場合は、【様式3】により報告してください。
(【様式3】は、当プラザのホームページ「研修事業」からダウンロードできます。)
- ・宿泊を希望する受講者は、当プラザの宿泊施設を利用することができます。(有料・要予約)

【担 当】

さわやかちば県民プラザ
事業振興課 遠山 宗利
〒277-0882 柏市柏の葉4-3-1
電 話 04-7140-8615
F A X 04-7140-8601
E-mail:m.toym5@pref.chiba.lg.jp

「学校・家庭・地域の連携の再構築」に向けた取組

I 地域の指導者・コーディネーターの養成

○事業名 ③学校支援コーディネーター研修講座

○事業内容

- ・地域コーディネーターやボランティア等を対象として、「地域学校協働活動」の推進のために必要な基礎知識や技術の習得、資質の向上を図る。
- ・3期に分かれ、1期では「講義・ワークショップ」、2期では「活動の参観」、3期ではまとめとして「講演及び事例発表」を行う。

○昨年度の成果と課題

- ・＜1期＞170名、＜2期＞128名、＜3期＞100名、延べ398名の方に参加いただいた。
- ・研修方法等がマンネリ化しており、リピーター参加の一部の方から不満が出ている。

○今年度の取組

<p>視 点 工夫点 強化点</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・講義・演習等により、幅広い視点でコーディネート力について学ぶ。 ・参加者のネットワーク作りをする。 ・ワークショップの形式を変更するなど研修方法を工夫し、参加者の満足度の向上、参加者数増加を目指す。
<p>事業の成果</p>	<p>＜1期＞5～6月に実施</p> <ul style="list-style-type: none"> ・参加者のアンケートでは、研修満足度が、4点満点中平均で3.5（昨年度3.28）と好評であった。 ・喫緊の課題をテーマとした講演を実施し、問題提起が図れた。 ・グループ協議により、様々な地域・立場の方々が、意見交換・情報交換を行い、有意義な機会となった。
<p>事業の課題</p>	<p>＜1期＞</p> <ul style="list-style-type: none"> ・回によって、参加人数の偏りが見られた。 ・地域によって、参加人数の偏りが見られた。
<p>今後の事業の在り方</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・2期、3期の開催に当たり、積極的に広報する。 ・リピーターが多い研修であるので、次年度に向け、講師選定・研修方法等について、十分に検討する必要がある。

平成28年度「学校支援コーディネーター研修講座」実施要項

千葉県教育庁生涯学習課
学校・家庭・地域連携室

- 1 目的 地域コーディネーターやボランティア等を対象として、「地域学校協働活動」の推進のために必要な基礎的知識や技術の習得、資質の向上を図るとともに、参加者のネットワーク作りの一助とする。
- 2 主催 千葉県教育委員会
(生涯学習課、さわやかちば県民プラザ、各教育事務所)

3 期日・内容・会場・定員

期	期 日	内 容	会 場	定 員
1	学校支援地域本部 ① 5月25日(水) ② 5月31日(火)	講義・ワークショップ 講義・ワークショップ	千葉県総合教育センター さわやかちば県民プラザ	各会場 70名 程度
	放課後子供教室 ① 5月27日(金) ② 6月2日(木)	講義・ワークショップ 講義・ワークショップ	さわやかちば県民プラザ 千葉県総合教育センター	
2	8～11月	活動の様子の参観 (学校支援地域本部3ヶ所、放課後子供教室5ヶ所)	教育事務所単位で活動場所にて実施 (東上総教育事務所・南房総教育事務所は、放課後子供教室のみ実施予定)	各会場 30名 程度
3	平成29年 1月31日(火)	講演及び事例発表会 (事例発表：学校支援地域本部3事例、放課後子供教室5事例)	千葉県総合教育センター	150名 程度

- 4 対 象 地域コーディネーター(学校支援地域本部、放課後子供教室)
学校支援地域本部、放課後子供教室スタッフ
学校支援活動に取り組んでいる人、今後取り組んでみようとする人
公立幼・小・中学校職員、行政職員 等
- 5 募集方法 市町村教育委員会を通じて募集する
- 6 参加料 無料

平成28年度学校支援コーディネーター研修講座<1期>

アンケート集計 概要

1. 参加者(人)

	行政	ボランティア	コーディネーター	PTA役員	地域住民	学校教職員	学校支援地域本部関係者・担当者	放課後子供教室関係者・担当者	その他
【本部】5/25 (総セ)	3	3	14	0	2	0	0	2	0
【放課後】5/27 (県プラ)	3	0	4	0	2	0	3	7	1
【本部】5/31 (県プラ)	16	6	38	2	6	7	8	2	3
【放課後】6/2 (総セ)	12	2	16	1	2	0	3	16	3
計	34	11	72	3	12	7	14	27	7

2. 感想 ※ 4段階で評価いただき、平均値を記載

	講座内容の構成	講座の運営	講座の理解度	講座の満足度
【本部】5/25 (総セ)	3.8	3.6	3.6	3.7
【放課後】5/27 (県プラ)	3.7	3.7	3.5	3.4
【本部】5/31 (県プラ)	3.7	3.6	3.6	3.6
【放課後】6/2 (総セ)	3.4	3.3	3.2	3.1
全体平均	3.7	3.6	3.5	3.5

「学校・家庭・地域の連携の再構築」に向けた取組

Ⅱ 学校支援コーディネーターの活用

○事業名 ④千葉県社会教育担当者研修会

○事業内容

- ・社会教育の現代的な課題に関わる知識・情報、対応策についての研修会を実施し、社会教育・生涯学習の振興を図る。

○昨年度の成果と課題

- ・事例研修を通じた情報交換ができ、市町村での取組みのヒントとなった。
- ・研修内容の精選。（現代的な課題に関わる内容等）

○今年度の取組

視 点 工夫点 強化点	<ul style="list-style-type: none"> ・学校支援地域本部等の学校と地域が連携した先進的な取組事例の研修を通して、コーディネーターの発掘・活用、学校支援ボランティアの組織づくり等、社会教育担当者としてのコーディネート能力の向上を図るとともに、地域のネットワークづくりを推進する。
事業の成果	
事業の課題	
今後の事業の在り方	

平成28年度 第2回千葉県社会教育担当者研修会 開催要項

- 1 目的 生涯学習社会の実現に向けて、社会教育の現代的な課題に関わる知識・情報、対応策についての研修会を実施し、社会教育・生涯学習の振興を図る。
- 2 主催者 千葉県教育委員会
- 3 参加対象者 教育庁教育事務所社会教育主事
県立青少年教育施設職員 県立生涯学習施設職員
各市町村教育委員会社会教育主事及び社会教育担当者 等
- 4 期 日 平成28年9月2日(金)
- 5 会 場 千葉県総合教育センター 本館7階 映写ホール A701
本館6階 A601 A602
- 6 日 程
 - (1) 受付 13:00~13:20
 - (2) 開会行事 13:20~13:30
 - (3) 研修Ⅰ 13:30~14:15
 - 【事例発表】学校と地域の連携・協働について
 - ①福田中学校区学校支援地域本部
地域教育コーディネーター 川崎 貴志 氏
 - ②鎌ヶ谷市立中部小学校支援地域本部
学校支援コーディネーター 原島 生子 氏
 - (4) 研修Ⅱ 14:30~16:00
 - 【分科会】グループ別情報交換
 - ※ 各市町村の実践レポートを持ちより情報交換会を行います。
 - 第1分科会「地域と連携した子どもの健全育成事業について」
 - 第2分科会「子どもの読書活動推進事業について」
 - 第3分科会「地域活性化事業について」
 - 第4分科会「多様な学習機会の充実について」
 - (5) 閉会行事 16:05~16:10
 - ※ 分科会ごとに解散予定

※尚、研修の受講に際して配慮を必要とする事情（手話通訳、点字教材、車椅子の使用等）がありましたら、事前に担当まで御連絡ください。

地域の自然環境を生かした学習に取り組む福田地区の取組

千葉県野田市

活動名

福田中学校区学校支援地域本部

関係する学校

福田中学校・福田第一小学校・
福田第二小学校・二ツ塚小学校

活動区分		※ H26 年度の実績 (補助の有無については H27 年度の状況)						
活動区分	活動内容	実施年度	開始年度	国庫補助	学習支援	ICT活用	企業・NPO との連携	
基本データ	学校支援地域本部	5人	147人	20年度	有	有	無	有
	成理障子掛教室							
ICT活用								

活動の概要・経緯

平成20年度より、野田市市内全中学校への地域のルームの設置に伴い福田中学校に本部を置き、福田第一小学校、福田第二小学校、二ツ塚小学校の4校で、地域の人材による学校支援の充実を図っている。設置当初より、豊かな自然環境や隣接する公民館といった地域の利点を活用した支援活動を実施している。福田中学校区学校支援地域本部では「地域の特性」として、「コウノトリの里」をはじめとした豊かな自然環境と学習施設をもつ。また、公民館が隣接しているという利点を生かして、公民館と連携して地域人材を学校に呼び込んでいる。

特に、豊かな自然環境を生かした「自然観察会(フィールドワーク)」が充実しており、四季を通じた自然の変化を生徒が観察することで、自然に対する興味関心を高め、生涯学習の基礎を築いている。また、講師として、専門家を多数招へいすることで充実した学習ができるように配慮している。

特徴

【特徴的な活動内容】

- ・福田中学校の学区には、関東初の放鳥を目指す、「コウノトリの里」があるが、そこで毎年2年生がフィールドワークに取り組んでいる。年間にフィールドワークを4回、事前学習を3回行っている。講師には、近隣の高校の先生や大学教授、ボランティア、市役所職員が協力して行っている。こういった外部講師と学校との連絡調整、ブログなどをとおしての広報活動に、学校支援地域本部が活躍している。
- ・隣接する福田公民館と連携して、小学生対象の「夏休み子どもの学び舎」への支援を行っている。
- ・図書館教育の支援を活発に行っている。図書の管理や、生徒による「自分の好きな本紹介」の会の運営の協力をしている。

【実施に当たっての工夫】

- 地域の特徴(コウノトリの里・隣接する公民館)を生かし、充実した教育活動の支援ができた。
- 地域ルームだよりの作成と、ブログによる情報発信を積極的に行っている。
- 活動を検証し、次年度に生かしている。
- 多くの外部講師と連携を取り、充実したフィールドワークになるよう取り組むとともに、教職員の負担軽減と、継続した教育活動を実践している。

事業を実施して

- ①意欲的に学ぶ生徒の育成(特に身の回りの自然に対して)に貢献できた。
- ②夏休みに、公民館での学習会や自然観察会に参加するなど地域の環境を活用できている。
- ③長期にわたる外部講師との連携により、児童生徒や職員に対して継続した支援ができています。

その他

(株)野田自然共生ファームの方から、「野田市の生態系保存の取り組み」について講演していただいている。
東京理科大学生のボランティアによる、放課後の補習を実施している。



フィールドワークの様子



「夏休み子どもの学び舎」の様子

こんな活動です

中部小学校を支える、 学習(家庭科)・環境・図書・登下校の4活動

千葉県鎌ケ谷市

活動名

鎌ケ谷市立中部小学校支援地域本部

関係する学校

中部小学校

活動区分		※ H26 年度の実績 (補助の有無については H27 年度の状況)					
活動区分	活動内容	活動人数	開始年度	国庫補助	学習支援	ICT活用	企業・NPOとの連携
基本データ	学校支援地域本部	1人	20年度	有	有	無	無
	支援校						
	1000人以上						
	1000人以上						
	1000人以上						
	1000人以上						
	1000人以上						
	1000人以上						
	1000人以上						
	1000人以上						

活動の概要・経緯

平成20年度より活動を開始し、現在5代目のコーディネーターが中心となって活動している。毎年、5・6年生の家庭科の授業支援(手縫い・ミシンの手伝い、「祭り寿司」作り)を行う「学習支援」、PTAの美化作業にあわせて、地域の方にもお手伝いいただく「美化」、図書室および絵本の部屋の環境整備や長期休み後の本の返却作業の手伝いを行う「図書」、PTAや推進隊とともに登下校の見守りを実施する「登下校」、の4分野で活動を行っている。

特徴

【特徴的な活動内容】

学習支援では、地域の人材を活用して、千葉県の伝統食である「祭り寿司」作りを家庭科の調理実習で実施している。毎年、多くのお年寄りの経験と知恵が生かされることで、6年生の児童全員が太巻き「祭り寿司」を完成させることができている。図書ボランティアの活動では、図書室の環境整備から返却作業の手伝い、図書室を移動する際の本の移動まで、ボランティアの力で行うことができている。

【実施に当たっての工夫】

年度当初に、コーディネーターと学校職員(教頭、図書司書、家庭科専科など)が打合せを実施している。その上で、毎年5月下旬にボランティア会議を行って、コーディネーター、ボランティア、学校職員の顔合わせを行うとともに、学校としてのねらいや実施上の留意点などを、コーディネーターからボランティアに伝達・周知している。また、実績の蓄積、記録、ファイリングを行い、コーディネーターが変わっても継続して活動が行われるよう工夫している。

事業を実施して

地域の人材が、学習環境の整備や学習の支援などに日常的に学校にかかわり、子供たちも地域の方から多くのことを学ぶことができている。特に、地域の高齢者の方からは、縫い物、「祭り寿司」作りなどを教わることで、日本の伝統的な文化に自然な形で触れ、興味・関心を高めるきっかけとなるとともに、感謝の気持ちも醸成されている。こうした充実した活動は、コーディネーターが間に入り適切な連携を行うことで、ボランティアと学校のそれぞれの担当をうまく結びつけ、円滑に運営されている。

その他

中部小学校の「学習支援」は、国語や算数などの補習や学習会ではなく、地域の人材を活用しなければならないような、千葉の伝統食「祭り寿司」作りや縫い物の指導において実施している。また、図書ボランティアは、今年度よりICTを活用し、連絡メールシステムを活用して活動日時の連絡を行っている。(連絡文の例:「次回お知らせ」図書ボランティアのみなさま 1学期の活動ありがとうございました。次回は9月2日(水)、3日(木)の2日連続です。両日とも10:00開始予定で、場所は図書室、内容は本の返却作業です。軍手やエプロンがあると便利です。よろしくお願いたします。)



美化活動の様子



「祭り寿司」作りの様子

平成28年度 生涯学習課施策取組シート
「学校・家庭・地域の連携の再構築」に向けた取組

Ⅲ 連携・協働の強化に向けた体制づくり

- 事業名 ⑤「地域とともに歩む学校づくり推進支援事業
 (学校支援地域本部)」
 「放課後子供教室推進事業」

○事業内容

- ・学校・家庭・地域が連携・協働し、幅広い地域住民の参画を得て、学校支援や放課後等の活動を実施し、地域全体で子供たちを育む体制づくりを推進する。

○昨年度の成果と課題

- ・「地域とともに歩む学校づくり推進支援事業(学校支援地域本部)」の実施は、平成27年度16市町129本部から、28年度16市町133本部へと増加。「放課後子供教室推進事業」の実施は、平成27年度28市町174教室から、28年度29市町202教室へと増加。
- ・地域によって、実施に偏り(都市部で多く郡部で少ない)がある。
- ・「地域とともに歩む学校づくり推進支援事業(学校支援地域本部)」の拡大があまり進んでいない。
- ・「放課後子供教室」では、「放課後子ども総合プラン」に基づく、「放課後児童クラブ」との連携があまり進んでいない。

○今年度の取組

<p>視 点 工夫点 強化点</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・実施市町村の拡大に向け、積極的に広報を行い、事業の成果等の周知を図る。 ・地域学校協働活動の推進に向け、「学校支援コーディネーター研修講座」を開催し、コーディネーターの資質向上等を図る。 ・国の動向等、市町村に情報提供し周知することで、重点施策(「地域未来塾」、「『放課後子ども総合プラン』の推進」等)を中心に推進を図る。
<p>事業の成果</p>	
<p>事業の課題</p>	
<p>今後の事業 の在り方</p>	

千葉県「地域とともに歩む学校づくり推進支援事業」の概要

千葉県教育庁教育振興部生涯学習課

1 事業趣旨

- ・地域全体で学校教育を支援する体制づくりを推進することにより、教員や地域の大人が子供と向き合う時間の増加、住民等の学習成果の活用機会の拡充および地域の教育力の活性化を図る。

※国庫補助事業で、負担割合は国1/3、県1/3、市町村1/3

2 事業内容

(1) 県教育委員会の取組

ア 推進委員会の設置

- ・市町村の実情を把握し、事業推進のための方策を検討する。
- ・市町村への助言や県民への広報活動を行い、学校支援の推進を図る。

イ コーディネーター研修の実施

- ・地域による学校支援活動の核となるコーディネーターとして必要な基礎的知識や技術の習得、資質の向上を図る。

(2) 市町村の取組

ア 実行委員会の設置

- ・コーディネーターを配置する。
- ・地域コーディネーター、学校支援ボランティアを養成する。

イ 「地域とともに歩む学校づくり委員会」(地域教育協議会)の設置

- ・学校の空き教室等に「地域ルーム」を設置し、コーディネーターを配置して、学校と地域との連携を図り、地域ぐるみで学校教育を支援する体制づくりを推進する。

【活動例】

<教育活動支援>

外国人児童支援、ゲストティーチャー、家庭科・図工等の学習補助、サタデースクール部活動支援、キャリア教育協力事業所の発掘、読み聞かせ など

<環境整備支援>

花壇の整備、ビオトープ整備、図書館の整備 など

<安全・安心への支援>

登下校の安全確保、夜回り隊、交通安全教室 など

<地域との連携>

通学合宿、地域オープン講座、1000か所ミニ集会、施設開放 など

<地域未来塾>

プリント教材学習(自習形式・授業形式)

3 実施の市町村(本部数等は、平成28年実施予定分)

16市町、133本部(小学校148校 中学校51校 特別支援学校1校、義務教育学校1校)

※ 地域未来塾 浦安市4本部、松戸市1本部、酒々井町1本部で実施

4 課題

- ・地域の関係機関・企業、他市町との連携について
- ・地域未来塾の推進

千葉県「放課後子供教室推進事業」の概要

千葉県教育庁教育振興部生涯学習課

1 事業趣旨

子供たちの安全・安心な活動拠点（居場所）づくりのため、小学校の余裕教室等を活用し、地域の人々の参画を得て、勉強やスポーツ・文化活動、地域住民との交流活動等の取組を市町村と連携して推進する。

文部科学省補助事業につき、国 1/3、県 1/3、市町村 1/3 で補助対象経費を負担。

2 実施内容

(1) 千葉県

- ・推進委員会（本委員会）の設置（兼「放課後子ども総合プラン」推進委員会）
→県内で実施される総合的な放課後対策事業の在り方を検討
- ・コーディネーター、指導スタッフ等の研修の実施
（平成28年度「放課後子ども総合プラン」指導スタッフ等研修会：9月15日）
→指導スタッフ等の資質向上や情報交換等を図るための研修を実施

(2) 市町村

- ・運営委員会の設置
活動内容や運営方法などを検討
- ・コーディネーターの配置
- ・放課後子供教室（活動）の実施

3 実施状況

平成26年度 27市町、148教室、173校
平成27年度 28市町、174教室、194校
平成28年度 29市町、202教室、218校

市川市、八千代市、浦安市、松戸市、野田市、我孫子市、成田市、四街道市、八街市、印西市、白井市、富里市、匝瑳市、香取市、酒々井町、栄町、茂原市、勝浦市、山武市、大網白里市、一宮町、睦沢町、白子町、御宿町、館山市、木更津市、鴨川市、袖ヶ浦市、南房総市（新規）

4 対象

すべての子供（実質的には小学生向け）

5 活動内容

学習活動、体験活動等

6 指導員

コーディネーター、教育活動推進員、教育活動サポーター、ボランティア等

7 活動場所

小学校の余裕教室、体育館、運動場及び公民館等

8 課題

- ・魅力ある活動プログラムの提供
- ・子供との関わり方について
- ・地域の関係機関・企業、他市町との連携について
- ・「放課後子ども総合プラン」の推進 等

「学校・家庭・地域の連携の再構築」に向けた取組

Ⅲ 連携の強化に向けた体制づくり

○事業名 ⑥通学合宿推進事業

○事業内容

- ・子供たちが親元を離れ、地域の公民館や青少年教育施設等に宿泊しながら通学する「通学合宿」を推進し、団体生活の中で日常生活の基本を学ばせるとともに、子供たちの社会性、自主性、協調性を育む。運営に地域住民の参画を促進することにより、地域ぐるみで子供を育てる機運の醸成と地域コミュニティの活性化を図る。

○昨年度の成果と課題

- ・県ホームページや各種会議での広報を行ったため、前年度（H26年度実施・20市町村、H27年度・18市町村）とほぼ同数の開催を確保することができた。
- ・活動に携わる支援スタッフの高齢化や地域の意識の変化により、事業実施が難しいと回答する市町村が増加傾向にあることが課題である。

○今年度の取組

<p>視 点 工夫点 強化点</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・先進事例や実施市町村の状況を集約し、県ホームページにて公開し、未実施市町村への啓発を行い、地域住民の参画を推進する。 ・各種会議や県ホームページ等における普及啓発をとおり、地域の体制作りを推進し、地域住民の意識を高める。
<p>事業の成果</p>	
<p>事業の反省</p>	
<p>今後の事業 の在り方</p>	

平成28年度 通学合宿実施予定市町村

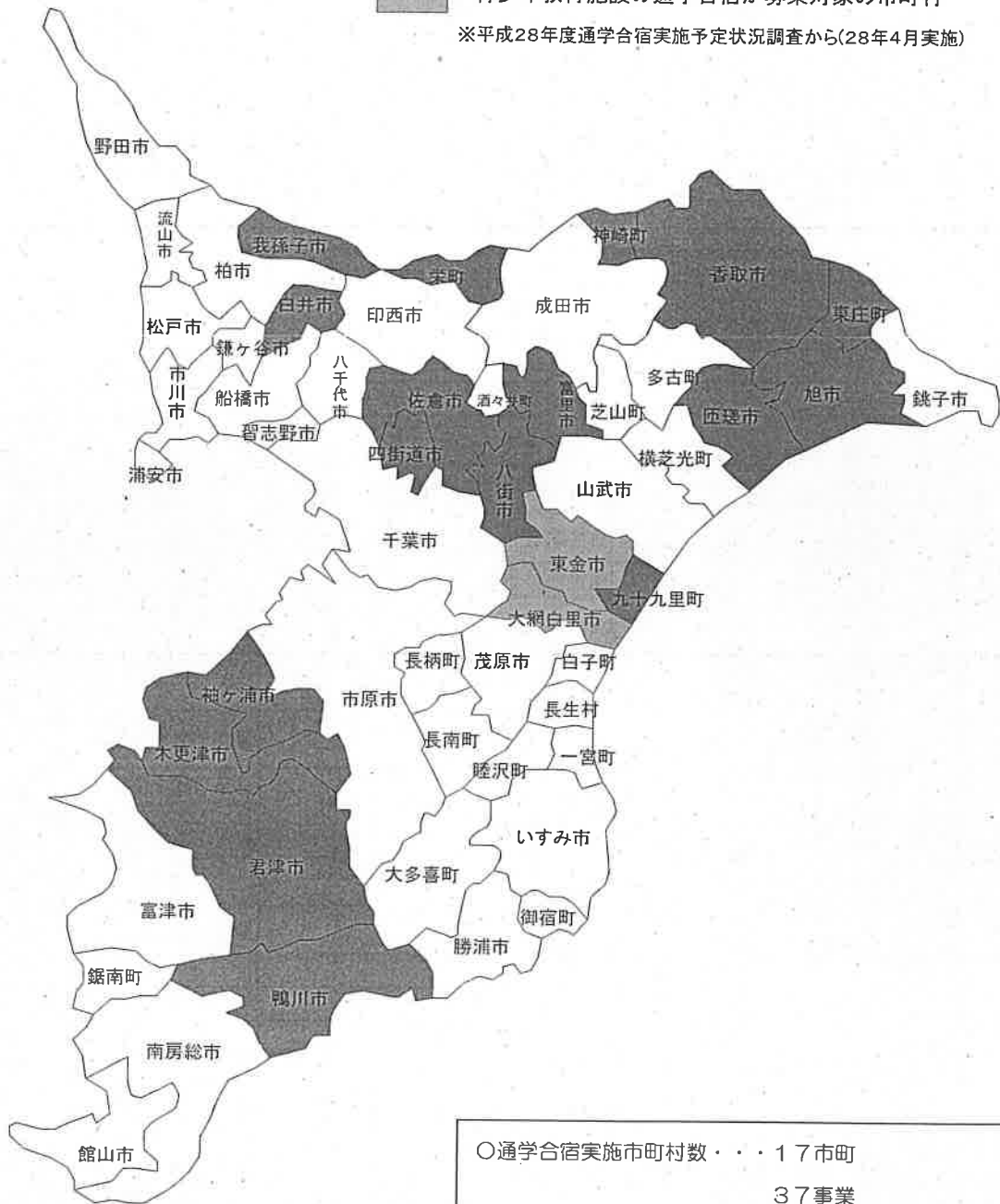
市町村名	実施主体	宿泊予定	
		宿泊予定場所	対象校
我孫子市	我孫子市・我孫子市教育委員会・手賀の丘少年自然の家 共同主催	手賀の丘少年自然の家	我孫子第二小学校、我孫子第三小学校、高野山小学校、布佐南小学校
	我孫子市・我孫子市教育委員会・手賀の丘少年自然の家 共同主催	手賀の丘少年自然の家	湖北小学校、布佐小学校、湖北台西小学校、湖北台東小学校、新木小学校
	我孫子市・我孫子市教育委員会・手賀の丘少年自然の家 共同主催	手賀の丘少年自然の家	我孫子第一小学校、我孫子第四小学校、根戸小学校、並木小学校
佐倉市	根郷公民館	根郷公民館	根郷小学校、寺崎小学校、山王小学校
	教育委員会	佐倉西高校セミナーハウス	下志津小学校
	中央公民館	佐倉高校セミナーハウス	佐倉小学校
	実行委員会	佐倉市青少年センター	内郷小学校
旭市	旭市教育委員会	旭市海上保健センター	
	旭市教育委員会	旭市海上保健センター	
四街道市	四街道市青少年体験活動実行委員会	四街道公民館	四街道小学校、大日小学校、中央小学校
	四街道市青少年体験活動実行委員会	千代田公民館	南小学校、八木原小学校
	四街道市青少年体験活動実行委員会	旭公民館	みそら小学校、山梨小学校、旭小学校
八街市	八街市教育委員会	千葉黎明高等学校合宿所	実住小学校、二州小学校
	八街市教育委員会	千葉黎明高等学校合宿所	八街東小学校、川上小学校
白井市	実行委員会	西白井複合センター	大山口小学校、清水口小学校、七次台小学校
	実行委員会	学習等供用施設(富士センター)	白井第三小学校
	実行委員会	白井駅前センター	白井第一小学校、南山小学校、池の上小学校
富里市	きずな富一通学合宿実行委員会	南平台自治会館	富里第一小学校
匝瑳市	匝瑳市青少年相談員連絡協議会	生涯学習センター	野田小学校、栄小学校
	匝瑳市青少年相談員連絡協議会	生涯学習センター	共興小学校、平和小学校
	匝瑳市青少年相談員連絡協議会	生涯学習センター	豊和小学校、椿海小学校
	さふさ委員会	匝瑳高校「至誠館」	八日市場小学校、豊栄小学校、須賀小学校、吉田小学校
香取市	教育委員会	小見川スポーツコミュニティセンター	佐原小学校、神南小学校、栗源小学校
栄町	実行委員会	ふれあいプラザさかえ	安食小学校、安食台小学校、竜角寺台小学校、布鎌小学校
神崎町	神崎町子ども会育成連合会 神崎町教育委員会	神崎ふれあいプラザ	神崎小学校、米沢小学校
東庄町	東庄町教育委員会	東庄町公民館	
九十九里町	実行委員会	町中央公民館	片貝小学校、豊海小学校、九十九里小学校
	実行委員会	町中央公民館	片貝小学校、豊海小学校、九十九里小学校
木更津市	木更津第二中学校区青少年健全育成住民会議	櫻井公民館	木更津第二小学校、請西小学校、真舟小学校
	岩根西地区住民会議	岩根西公民館	岩根小学校、岩根西中学校
	清見台公民館、青少年育成太田中学校区住民会議	清見台公民館附属体育館	清見台小学校、南清小学校、太田中学校
鴨川市	教育委員会	鴨川市青少年研修センター	江見小学校、鴨川小学校、田原小学校、長狭小学校
	教育委員会	鴨川市青少年研修センター	東条小学校、西条小学校、天津小学校、小湊小学校
君津市	秋元小学校(協力:清和公民館・ボランティア)	清和公民館	秋元小学校
袖ヶ浦市	名幸ヶ丘の会	平岡公民館	平岡小学校
	長浦公民館、ながうら青空の会	長浦公民館	長浦小学校、蔵波小学校
	坂戸の森みどりの会	袖ヶ浦市民会館	昭和小学校、奈良輪小学校

平成28年度通学合宿実施予定市町



通学合宿を実施予定の市町村
 青少年教育施設の通学合宿が募集対象の市町村

※平成28年度通学合宿実施予定状況調査から(28年4月実施)



○通学合宿実施市町村数	・ ・ ・ 17市町
	37事業
○県立青少年教育施設数	・ ・ ・ 5施設
	10事業
(うち1施設3事業は市町村と共催) 計44事業	

その他資料

(1) 会議次第

(2) 千葉県生涯学習審議会委員・千葉県社会教育委員名簿

(3) 座席表

第11期千葉県生涯学習審議会第2回会議及び平成28年度第1回
千葉県社会教育委員会議 次第

日時：平成28年7月4日（月）
午後2時から

会場：千葉県教育会館 604会議室

1 開 会

2 あいさつ

- (1) 奥山教育振興部長
- (2) 中澤生涯学習審議会長兼社会教育委員会議長

3 報 告

- (1) 平成28年度の社会教育施策について
- (2) 平成27年度全国都道府県教育長協議会第2部会研究報告について
- (3) その他

4 議 事

- (1) 平成28年度社会教育関係団体への補助金の交付について
- (2) その他

5 協 議

- (1) 子供の貧困対策における社会教育の支援について
- (2) 学校・家庭・地域の連携の再構築について
- (3) その他

6 諸 連 絡

7 閉 会

第11期千葉県生涯学習審議会委員・千葉県社会教育委員名簿

[任期：平成27年11月19日～平成29年11月18日]

【五十音順 敬称略】

	氏名	所属等	分野
1	くろさわ ますみ 黒澤 真澄	白井市立図書館長	社会教育関係者
2	せんだう たかし 千藤 尚志	千葉県公民館連絡協議会顧問	社会教育関係者
3	たかだ えつこ 高田 悦子	特定非営利活動法人子どもネット八千代理事	家庭教育関係者
4	たちばら みつひこ 立原 充彦	千葉県PTA連絡協議会理事	家庭教育関係者
5	たむら えちこ 田村 悦智子	2020年東京オリンピック・パラリンピック CHIBA推進会議委員	学識経験者
6	なかざわ じゅん 中澤 潤	千葉大学教育学部教授	学識経験者
7	なかはら あきこ 中原 章子	千葉県立佐倉南高等学校長	学校教育関係者
8	ふくだ まさあき 福田 正明	千葉テレビ放送株式会社顧問	学識経験者
9	ほそだ れいこ 細田 玲子	浦安市教育委員会教育長	学識経験者
10	みわ むつこ 三輪 睦子	松戸市立常盤平第一小学校長	学校教育関係者

第11期千葉県生涯学習審議会第2回会議及び 平成28年度第1回千葉県社会教育委員会議席表

期 日:平成28年7月4日(月)
会 場:千葉県教育会館 6階604会議室

中原副会長(副議長) 中澤会長(議長)
○ ○

M2

黒澤委員 ○
千藤委員 ○
高田委員 ○
立原委員 ○

M1

○ 田村委員
○ 福田委員
○ 三輪委員

M3

(進行・説明M4)

中央図書館 生涯学習課 教育振興部 県民プラザ
鶴澤 内藤 奥山 浅岡
館長 課長 部長 所長

生涯学習課 生涯学習課 生涯学習課 生涯学習課
小野 飯田 高蝶 長嶋
副主幹 室長 室長 班長

生涯学習課 生涯学習課 生涯学習課 生涯学習課
加藤 佐久間 高見 三橋
主査 副主幹 副主幹 社教主事

生涯学習課 生涯学習課 生涯学習課 生涯学習課
梅澤 菅谷 山桐 峯
班長 社教主事 社教主事 社教主事

生涯学習課 東上総 東上総 東葛飾
菅井 宇津木 久我 齋藤
社教主事 社教主事 社教主事 社教主事

傍聴者 傍聴者

報道関係者

入

口